

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月25日		記入者	内線	671
部 名	土木部	課 名	南土木事務所	課長名	八木 博
事務事業名	道路舗装整備事業(箇所指定)				
予算上の事務事業名	道路舗装整備事業(箇所指定)南土木事務所分				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	32220	
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政 策 名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます				
基本施策名	第2節 安全でゆとりある道路の整備				事業開始年度
施 策 名	第2施策 身近な生活道路の整備				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	道路法、相模原市私道路整備要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	建築・整備・重要物品購入 ▼				
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)
生活環境の改善と安全で住み良いまちづくりに寄与するため、狭い道路の拡幅整備、位置指定道路等の私道路の寄附採納による整備、及び砂利道の舗装整備を行う。				道路を利用する不特定多数の車両、歩行者	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
1 1箇所 1.5路線 延長 L = 1,195.0m 幅員 W = 2.0~5.4m 舗装面積 A = 3,970㎡					
6 関連・類似事業や他市の状況	県内他都市においても同様な事業を実施しているが、用地の取得については有償で取得している都市もある。				
7 事業費の推移	[単位：千円]				
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	150,588	64,582	108,334	131,700	150,000
一般財源	150,588	64,582	108,334	131,700	150,000
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	20,136	15,219	15,333	15,333	15,333
事業コスト合計(a)	170,724	79,801	123,667	147,033	165,333
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	道路舗装整備事業(箇所指定)			対象名称(単位)	整備延長(m)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	170,724	79,801	123,667	147,033	165,333
対象数	1,709	955	1,195	1,510	1,700
単位あたり経費(円)	99,926	83,561	103,487	97,373	97,255
前年度比		0.84	1.24	0.94	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	整備延長 (m)		指標式と指標の説明	整備実施延長/予算要求延長 整備実施率	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	1,709.0	955.0	1,195.0		
目標	1,770.0	1,050.0	1,235.0	1,510.0	1,700.0
目標達成度	0.97	0.91	0.97		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	舗装率 (%)		指標式と指標の説明	舗装済延長/市道総延長 * 100	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	82.8	82.7	82.8		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度	82.8	82.7	82.8		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		市内にはまだ未整備の4m未満の道路が多数存在し、また整備要望の件数も多く、生活環境の改善と安全で住み良いまちづくりの実現のために有効な事業であり、継続して事業を進めて行く。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 申請受付から工事実施までの期間を短縮することにより、事業効果の向上が期待できる。			14 課題として認識されたこと 用地の取得に関して、複雑な権利関係が存在する場合があります、登記事務が滞ることがある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			